

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年03月29日

計画の名称	下水道整備による住みよいまちの実現												
計画の期間	平成 3 1 年度 ~ 令和 0 5 年度 (5年間)											重点配分対象の該当	
交付対象	東郷町												
計画の目標	下水道整備による未普及地域の解消と、下水道施設の健全度に関する点検・調査結果に基づく計画策定をし、予防保全的な予防保全的管理を行うとともに、長寿命化を含めた計画的な改築等を行うことにより、事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）	107	A	107	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H 3 1	H 33	H 35
1	東郷町西部処理分区の未普及地域の整備率を94.8%（H31）～99.6%（H32）にする。			
	下水道整備率（東郷町西部処理分区） 既整備面積（ha） / 計画整備面積（ha）	95%	100%	100%
2	整備計画 5 年以内に管渠における長寿命化率を13%（R3）にする。			
	下水道施設（管渠）における長寿命化率 ストックマネージメント計画に基づいて改築更新した施設延長（管渠） / 改築更新の必要がある施設延長（管渠）	13%	13%	13%
3	整備計画 5 年以内に下水道施設（ポンプ場・マンホールポンプ）における長寿命化率を13%（R3）にする。			
	下水道施設（ポンプ場・マンホールポンプ）における長寿命化率 ストックマネージメント計画に基づいて改築更新した施設数（電気・機械施設等） / 改築更新の必要がある施設数（電気・機械施設等）	13%	13%	13%
4	西部処理分区の共用開始に伴う揚水ポンプの増設を 2 基（H 3 1）～ 3 基（H 3 2）にする。			
	下水道施設（揚水ポンプ）設置率 揚水ポンプ新規設置数（基） / 揚水ポンプ新規設置予定数（基）	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	東郷町	直接	東郷町	管渠（ 汚水）	新設	白土枝線整備	管渠 L = 0.3km・A = 4,000㎡	東郷町	■	■				71		-
	A07-002	下水道	一般	東郷町	直接	東郷町	管渠（ 汚水）	改築	ストックマネジメント計 画策定	管渠調査	東郷町	■					31		-
	A07-003	下水道	一般	東郷町	直接	東郷町	ポンプ 場	改築	部田山汚水中継ポンプ場 外1改築更新事業	改築、更新（電気施設、機械 施設等）	東郷町	■					5		-
	A07-004	下水道	一般	東郷町	直接	東郷町	ポンプ 場	新設	部田山汚水中継ポンプ場 ポンプ増設事業	揚水ポンプ増設 N= 1 基	東郷町					■	0		-
											小計						107		
											合計						107		

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

東郷町都市環境部にて実施

事後評価の実施時期

令和 6 年 3 月

公表の方法

東郷町 H P にて掲載

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

下水道の面整備により、下水道処理人口普及率が上昇するとともに公共用水域の水質汚濁防止が図られた。また、ストックマネジメント計画に基づいた事業の実施により、同計画内で期待されるコスト縮減が図られた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

市街化区域内における下水道未整備箇所の整備を順次進めていきたい。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	計画整備面積に対する整備済面積の割合		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2	管きょ延長に対する調査済延長の割合		
	最 終 目標値	13%	令和４年度以降は防災・安全交付金へ移行し、差分を実施することとしたため。
	最 終 実績値	10%	
3	改築更新を要する設備数に対する改築更新済設備数の割合		
	最 終 目標値	13%	令和４年度以降は防災・安全交付金へ移行し、差分を実施することとしたため。
	最 終 実績値	1%	
4	揚水ポンプ計画設置基数に対する設置済基数		
	最 終 目標値	100%	人口増加に伴い計画汚水量の増加に対応するため、ポンプ増設を予定していたが、増加が頭打ちとなり実施しないこととしたため。
	最 終 実績値	0%	